

栗中だより

全国学力・学習状況調査調査
結果分析 2021.10 発行



5月27日(木)に行われた「令和3年度全国学力・学習状況調査」の本校結果についてお知らせをいたします。調査のねらいを踏まえ、子どもたち一人ひとりが「分かる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じることのできる授業となるよう、今後も改善に努めてまいります。ご家庭でも、ご支援、ご協力をお願いいたします。

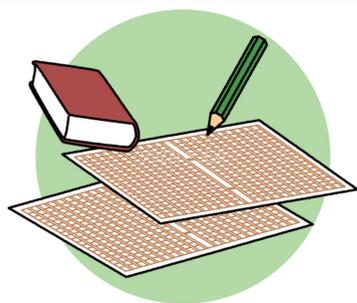
〈分析結果の表記について〉

- ・「さらに伸ばしたい部分」：本校の強みの部分をさらにのばすための取組
- ・「課題として取り組む部分」：本校の弱みの部分についての改善策

教科に関する結果から

『国語』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○「敬語」の種類を問う問題の正答率が県平均を大幅に上回っています。</p> <p>→言語・文法などの「読む、聞く、話す、書く」上で必要な基礎的な知識・技能を重視した学習を継続していきます。</p> <p>○「選択式」よりも、「記述式」「短答式」の解答における正答率が県の平均に比べ上回っています。</p> <p>→書くことへの抵抗感がなくなり、何とか自分の考えを表現しようと努力ができています。今後も継続していきます。</p>	<p>△意見文の下書きを直した意図を、段落相互の関係を読み取って答える問題の正答率が県平均を下回っています。</p> <p>→選択式問題において、根拠や正誤となるキーワードを捉えられず、もっともらしい選択肢を選びがちです。授業で、根拠や理由をもとに意見交流する時間を増やしていきます。</p> <p>△「詳細」の読み方を答える問題の正答率が県平均を下回っています。</p> <p>→たくさんの物語や随筆に触れる機会を増やし、漢字を読む力をつけさせていきます。</p>



【課題として取り組む部分】の問題例 国語

- 一 山田さんは、「意見文の下書き」を読み返して、㉑と㉒のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選びなさい。
- 1 1段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。
 - 2 2段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
 - 3 3段落で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
 - 4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。
 - 5 直後の文で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。

解答 1

2 山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いています。次は、山田さんが書いた「意見文の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(1)から(4)は、段落の番号を表します。

【意見文の下書き】

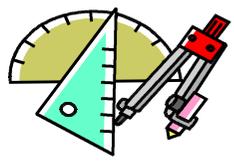
1 SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。(A)からだ

2 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行ってはダメなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないようにしていねいに書いていれば、このようなことは起こらなかっただろう。(B)「集合場所までどうやって来るの。」

3 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

4 SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉を必ず読み返してから発信するようにしている。

『数学』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○10名のデータから中央値を求めることができます。</p> <p>→ 整数値だけでなく小数値の問題にも取り組みます。「中央値」だけでなく、目的に応じて「平均値」「最頻値」のどの値を代表値とするか考察する活動を取り入れていきます。</p> <p>○おうぎ形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解しています。</p> <p>→ 円すいの展開図の中にある、おうぎ形の弧の長さと底面の円周の長さの関係についての応用問題にも取り組んでいきます。</p> <p>○表やグラフを用いて、2分 ($y=120$) はかるために必要な砂の量 (xの値) を求める方法を説明することができます。</p> <p>→ 比例関係だけでなく、反比例や一次関数についても、関数関係を見だし、表現し考察する活動を取り入れていきます。</p>	<p>△2直線の位置関係と錯角（同位角）に関する問題に課題が見られます。</p> <p>→ 直角三角形などを用いたより複雑な図形の中から、平行線や角の性質を見だし、それに基づいて図形の性質を確かめ説明する活動を取り入れていきます。</p> <p>△具体的な事象の中に数量の関係を見だし、式の意味を読み取る問題に課題が見られます。</p> <p>→ 式の意味を読み取る際は、まずは（ ）の中の式の意味を一つ一つ確認し、次に（ ）の外にかけてある値に注目していくという流れで式の意味を読み取るようにしていきます。また、条件を変えた問題にも取り組んでいきます。 【右記参照】</p> 

【課題として取り組む部分】の問題例 数学

(3) 二人は、自然数を6つずつに区切った表でも、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和が4の倍数になるかを考えることにしました。そこで、次の図3のような表をつくり、四角で囲んだ4つの数の和について調べました。

図3

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30

$$1, 2, 7, 8 \text{ のとき } 1 + 2 + 7 + 8 = 18 = 2 \times 9$$

$$17, 18, 23, 24 \text{ のとき } 17 + 18 + 23 + 24 = 82 = 2 \times 41$$

これらの結果から、図3のときは四角で囲んだ4つの数の和が、4の倍数にならないことがわかります。そこで、真菜さんは、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和がどんな数になるかを調べるために、左上の数を n として、右上の数を $n+1$ 、左下の数を $n+6$ 、右下の数を $n+7$ と表し、次のように計算しました。

真菜さんの計算

$$\begin{aligned} & n + (n+1) + (n+6) + (n+7) \\ &= n + n + 1 + n + 6 + n + 7 \\ &= 4n + 14 \\ &= 2(2n + 7) \end{aligned}$$

n	$n+1$
$n+6$	$n+7$

前ページの真菜さんの計算から、四角で囲んだ4つの数の和は、 $2(2n+7)$ になるので2の倍数になることがわかります。このことについて、二人は話し合っています。

真菜さん「自然数を6つずつに区切って表をつくったときは、4つの数の和が $2n+7$ の2倍になることがわかるね。」

優太さん「 $2n+7$ はどんな数なのかな。」

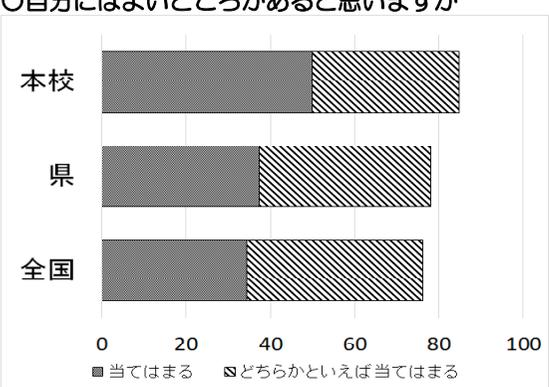
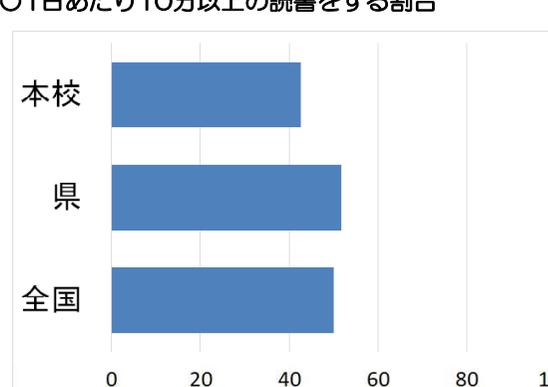
$2(2n+7)$ の $2n+7$ は、 $n+(n+7)$ と変形することができます。このことから、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和は、左上、右上、左下、右下の数のうち、ある2つの数の和の2倍であることがわかります。

四角で囲んだ4つの数の和は、どの位置にある2つの数の和の2倍ですか。「 は、 である。」という形で書きなさい。

解答(例)

四角で囲んだ4つの数の和は、左上の数と右下の数の和の2倍である。

生徒質問紙の結果から

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○自分にはよいところがあると思いますか</p>  <p>○自分にはよいところがあると思える生徒の割合が、高いです。</p> <p>→ 他の人とコミュニケーションをとる上で、自分に自信を持つことは非常に重要です。学校だけでなく、家庭や地域でも子どもたちを認め、伝えていくことをこれからも大切にしていきます。</p> 	<p>○1日あたり10分以上の読書をする割合</p>  <p>△日頃から読書をしている生徒の割合が低い傾向です。</p> <p>→ スマホが普及し、本よりもスマホに費やす時間が多い傾向です。学校では、図書館の利用を促進し、本を読む楽しさを子どもたちに感じさせていきます。</p> 

地域の皆様に支えていただいているからこそ...

生徒質問紙の「将来の夢や目標を持っています」「難しいことでもおそれないで挑戦する」「学校に行くのは楽しいと思う」「地域の行事に参加する」「友達の意見を最後まで聞く」など、ほとんどの項目で県平均、全国平均を上回っています。学校だけでなく、家庭や地域との連携による教育力の高さからこのような結果が得られていると思われます。これからも学校と家庭・地域がよりよい信頼関係の中で教育活動を進められるよう、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。